

# インマヌエル中目黒キリスト教会 聖日礼拝・2007. 12. 16.

メッセージ  
「『切り株』から  
救い主が」

イザヤ書11章1-10節

竿代照夫牧師



*Merry Christmas*

聖書朗読

旧約聖書  
イザヤ書11章1-10節

- 1 エッサイの根株から新芽が生え、  
その根から若枝が出て実を結ぶ。
- 2 その上に、主の霊がとどまる。  
それは知恵と悟りの霊、  
はかりごとと能力の霊、  
主を知る知識と主を恐れる霊で  
ある。

3 この方は主を恐れることを喜び、  
その目の見るところによって  
さばかず、その耳の聞くところ  
によって判決を下さず、

4 正義をもって寄るべのない者を  
さばき、公正をもって国の  
貧しい者のために判決を下し、  
口のむちで国を打ち、  
くちびるの息で悪者を殺す。

5 正義はその腰の帯となり、  
真実はその胸の帯となる。

6 狼は子羊とともに宿り、  
ひょうは子やぎとともに伏し、  
子牛、若獅子、肥えた家畜が  
共にいて、小さい子どもが  
これを追っていく。

7 雌牛と熊とは共に草を食べ、  
その子らは共に伏し、獅子も  
牛のようにわらを食う。

8 乳飲み子はコブラの穴の上で戯れ、  
乳離れした子はまむしの子に手  
を伸べる。

9 わたしの聖なる山のどこに  
おいても、これらは害を加えず、  
そこなわない。主を知ることが、  
海をおおう水のように、  
地を満たすからである。

10 その日、エッサイの根は、  
国々の民の旗として立ち、  
国々は彼を求め、  
彼のいこう所は栄光に輝く。

説教

待降節講壇（3）

〈イザヤのメッセージ（6）〉

「『切り株』から救い主が」

イザヤ書11章1-10節

竿代照夫牧師



主テキスト：

「エッサイの根株から新芽が生え、  
その根から若枝が出て  
実を結ぶ。」

(イザヤ11:1)

# A. 預言の背景

(7章から11章までの流れ)

## 1. ユダの危機と

「インマヌエル」の約束

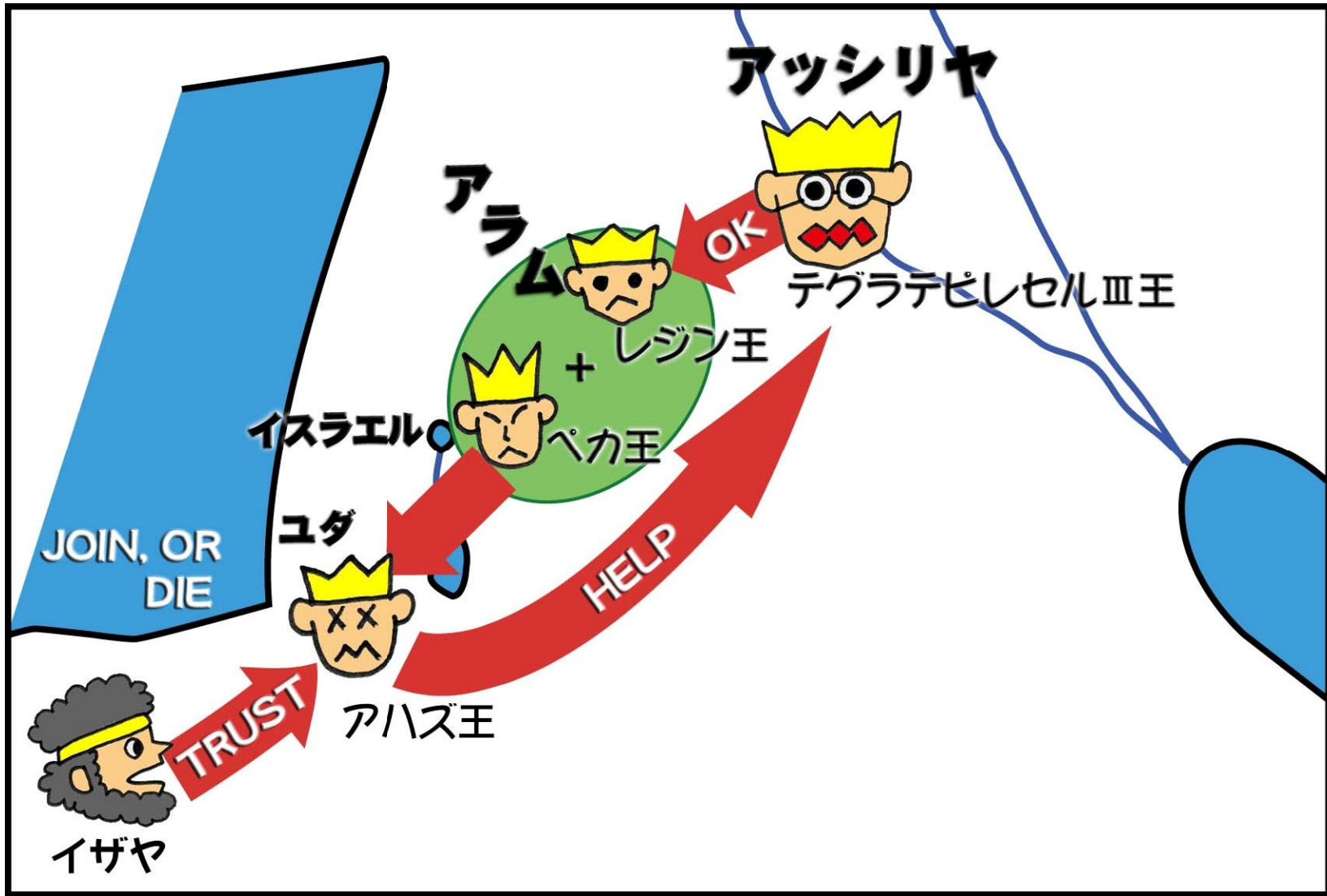
(7章、特に14節)

< 絵図①参照 >

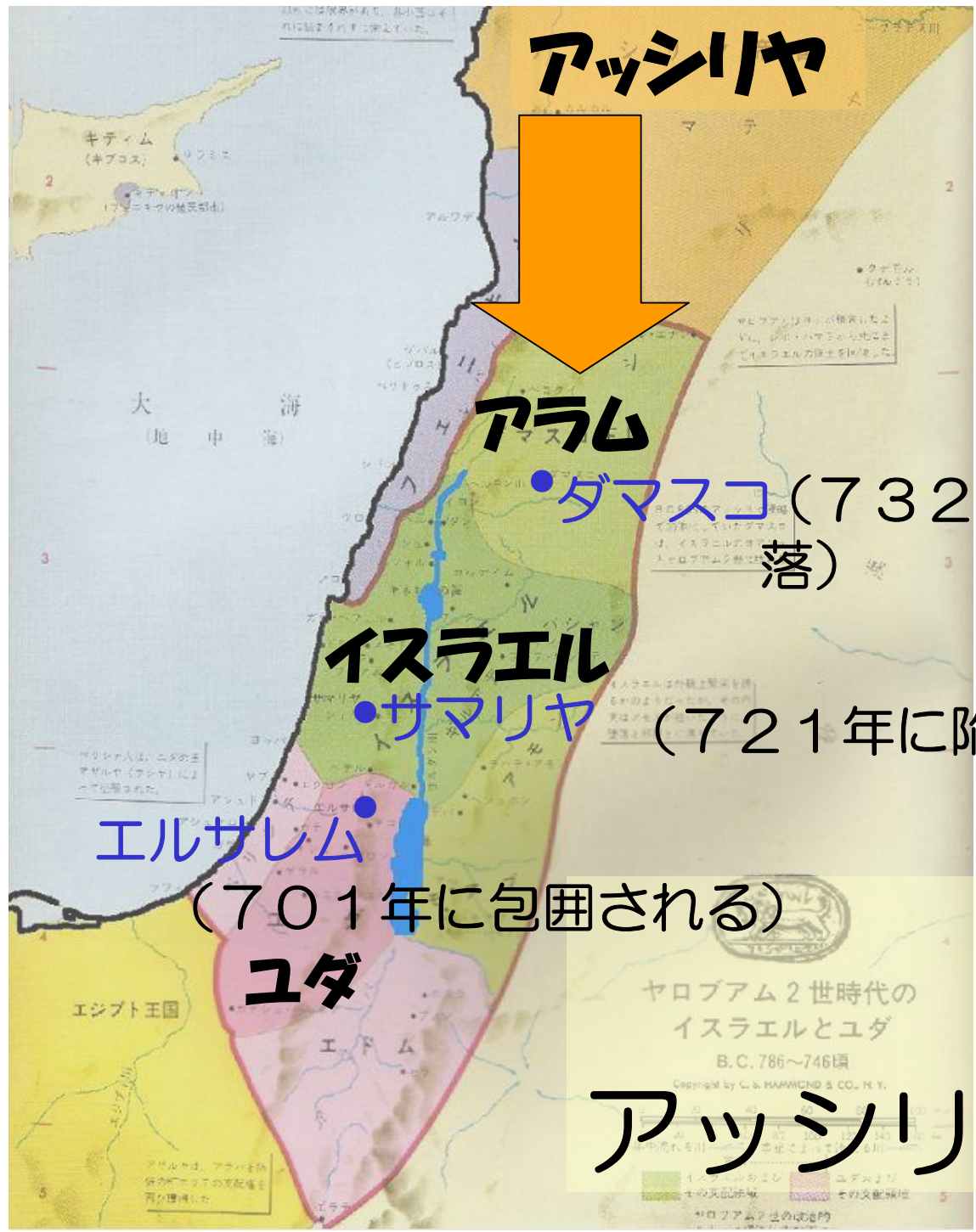
## 2. 更なる危機と神の助け

(8章、特に7-8節)

< 絵図②参照 >



絵図①



**アッシリヤ**

**アラム**

● **ダマスコ** (732年に陥落)

**イスラエル**  
● **サマリヤ** (721年に陥落)

● **エルサレム**  
(701年に包囲される)

**ユダ**

絵図②

アッシリヤの侵攻

3. 神による平和の象徴である  
「みどりご」(9章a、特に6節)

4. (北) イスラエルへの審判  
(9章b、特に13-14節)

5. 破壊者アッシリヤが  
破壊される  
(10章、特に5-6, 7, 15-16, 33-34節)

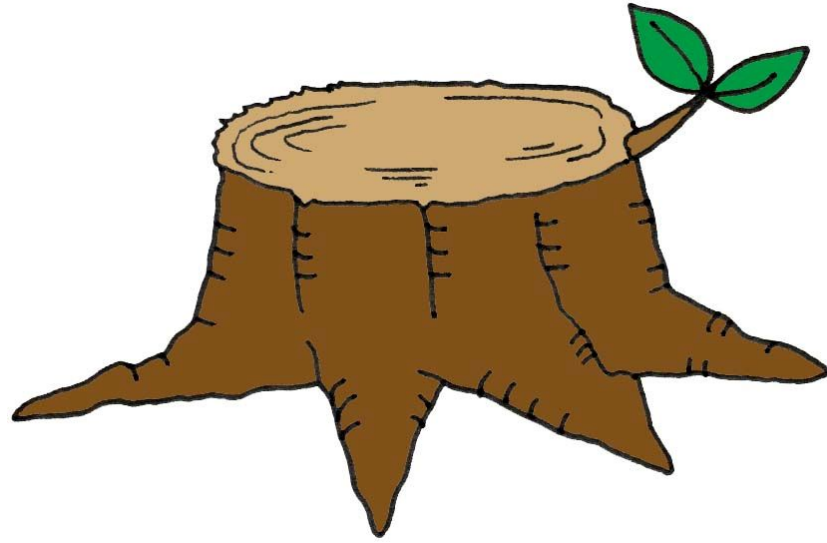
6. 若枝としてのメシア (11章)

## B. 廃墟から生まれるメシア (11:1)

### 1. 廃墟からの生命

(イザヤ53:2、2コリント1:9)

< 絵図③参照 >



ダビデの家  
(エッサイ)

絵図③

## 2. ダビデ王国の継承

### ①ダビデの家系：

ボアズ=ルツ→オベデ→エッサイ  
→ダビデ→ソロモン  
→レハベアム→・・・  
(14代の王) ゼデキヤ  
→・・・ヨセフ→イエス



## ②メシアの象徴としての「枝」

(イザヤ4:2、  
その他ゼカリヤ3:8,6:2、  
エレミヤ23:5,33:15)

## ③ダビデ王朝の断絶と継承 (2サムエル7:16)

## C. メシアとその王国(11:2-5)

### 1. 御霊が留まる

①主の霊：聖霊

②知恵：事物の関係を知る力

③悟り：物事を分析する力

④はかりごと：

物事を決定するために諸要素を  
統合する力

⑤能力：

そのはかりごとを実行する力

⑥主を知る知識：

御父との生きた交わり

⑦主を恐れる：敬虔さ

キリストは御霊に満たされていた

(ルカ4:18)

## 2. 公平と正義をもって治める

- ① 偏った知識や偏見で  
人を裁かない
- ② 弱者を顧みる
- ③ 悪に対して厳しい態度を取る
- ④ 真実と正義が支配原理

### 3. 平和を樹立する（11:6-9）

＜絵図④参照＞

- ①絶対に折り合わないような者達が仲良く暮らしている
- ②純粋な幼子が支配すると、他を害することがなくなる
- ③主を知る知識に満たされる

# 絵図④



4. その支配は世界に広がる

# 終わりに：私達への挑戦

1. 絶望の中で光を見よう
2. キリストの王国を、  
今経験しよう
3. 王国を広げよう